

子ども達を支える方々を紹介します！

～ どうだん ～

# 満天星

七重小学校 PTA広報誌 第4号

2025年2月27日(木)発行



## 見守り隊

「見守り隊」はCS（コミュニティースクール）導入後に結成。黄色の腕章が目印です。当番表などは無く、各々が都合の良い時、都合の良い場所で、出来る範囲での活動です。当初はCS担当と連合町内会の会議に出席し、説明と参加協力を依頼、要員を募りスタート。しかし、活動後まもなくコロナによる様々な制限下で「実質休止」となった経緯があります。

現在は当初のメンバー数名が継続して下さっており、毎朝の挨拶や会話、時間伝達、後から来る友達に伝言を頼まれたりしながら子供達を見守っています。毎日だからこそ、登校状況が分かり、「あの子まだ来てないなあ」と心配したり、通学路の安全について行政に伝えたりする事もします。

集団登校がなくなり、保護者の不安を感じる事や、「交通ルールを教えられていないのかな、危険だな。」と感じる場面も多いです。

登下校の安全見守りは、地域全体の課題です。地域と学校が連携、協働して考え行動していく必要があります。今後の見守り隊の在り方についても共に考えていく事が必要です。

地域学校協働活動推進員 住吉 聡



## ハッピー七小サポーターズ

ハッピー七小サポーターズの発足は4年前。住吉元校長と日隠元PTA会長の呼びかけにより始まったボランティア活動です。

学校の中にほっとできる場所を作りたいという想いで図書室整備からスタートしました。今も活動の中心は図書室です。中休みに折り紙をしたり、飾りつけや本の整理をしたり。他にも遠足やプール学習の見守り、夏休み冬休みの図書館開放も恒例となりました。お茶を飲みながらのおしゃべりも大切な時間です。

PTAとの違いは、保護者や教職員に加え、地域の方も参加できる点です。無理なく息の長い活動を目指しています。



今回、全てをご紹介することができませんでしたが、子ども達を支えてくださっている方々は、他にもたくさんいらっしゃいます。

見守り隊の方々以外にも、子ども達を見てくださっているボランティアさんがたくさんいます。いつもの場所で「おはよう」と声をかけてくれる顔見知りの大人がいるということはとても心強い存在です。地域の人と一緒に子育てをしてきているという安心感があります。正門前の横断歩道に立ってくださっている交通女子指導員の方は40年前から子ども達に声をかけ誘導し、登下校を見守り続けてくださっています。（子どもの頃お世話になった保護者の方もいますよね。）地域の人と関わる機会が少なくなっている中で学校支援ボランティアさんと子ども達との関係をこれからも大切にしていきたいですね。

今後とも変わらぬお力添えをお願いします。